



第10回 星野富弘と  
詩画公募展 入賞作品展

2017年 2/14(火)～5/7(日)

休館日：第2・4月曜日（祝日の場合は翌日火曜日）

開館時間：9:00～17:00

入館料：大人500円 小中学生300円 幼児無料

※団体（20名以上）、JAF会員、障がい者割引有り

会場：芦北町立星野富弘美術館

〒869-5563 熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2

Tel&Fax:0966-86-1600

URL:<http://www.hoshino-museum.com>

○第10回星野富弘美術館詩画公募展

募集期間：平成28年12月1日（木）～平成29年1月31日（火）

募集部門：一般の部、小学生の部、中学生の部、高校生の部  
賞（各部門）：最優秀賞（1点）、優秀賞（2点）、審査員賞（3点）、  
入選（10点）

主催：芦北町教育委員会

※その他詳細は美術館HP

## 企画展

# 星野富弘と第10回詩画公募展入賞作品展

芦北町立星野富弘美術館は、富弘美術館（群馬県みどり市）の姉妹館として開館し、昨年5月に10周年という記念すべき節目を迎えました。開館当初から続く詩画公募展も、第10回目の節目となります。

詩画公募展は、絵と言葉（詩文）をひとつの画面に収めた「詩画」を、現代芸術の新たな表現方法として広く一般に普及させるとともに、地域の芸術文化の発展向上に寄与する目的から実施しています。

星野富弘は、自身の体験から独自の詩画世界を生み出した詩画家です。出品者一人ひとりの体験や感性から生まれるオリジナルな詩画作品を募集し、その優秀作品を顕彰します。

本展では、星野富弘の詩画作品に併せ、第10回星野富弘美術館詩画公募展の入賞作品を展示します。春の草花を題材に、温かく心地のよい春風吹く星野富弘の詩画世界を紹介するとともに、全国各地から届く、一人ひとりの思いや気持ちにより「いのちの尊さ・いのちの輝き」を表現した、個性光る詩画作品を展示します。



「桐の花」



「たんぽぽ」



「私のいのち」



「ヒヤシンス」



星野 富弘（ほしのとみひろ）

1946年群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）生まれ。群馬大学卒業後、中学校の体育教諭になるも、クラブ活動（器械体操）の指導中、模範演技で空中回転したとき誤って頭部より転落。頸髄を損傷。首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵を描き始める。前橋で最初の作品展を開く。退院後、雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年群馬県勢多郡東村に村立富弘美術館（現みどり市立「富弘美術館」）開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。

## 交通案内

### ●電車の場合

熊本▶新八代または八代▶湯浦／約1時間40分

※JR鹿児島本線及び肥薩おれんじ鉄道

新水俣▶湯浦／約15分

※肥薩おれんじ鉄道

湯浦▶美術館（徒歩）／約10分

※湯浦駅から美術館までは、案内看板を設置しています。

### ●お車の場合

熊本市▶美術館／約1時間30分

水俣市▶美術館／約30分

人吉市▶美術館／約55分

芦北IC▶美術館／約10分



芦北町立

星野富弘美術館

〒869-5563

熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2

Tel./Fax.0966-86-1600

URL.<http://www.hoshino-museum.com>